

平成24年8月31日

## 第1回削りぶしの日本農林規格の確認等の原案作成委員会

### 第1 開催日時及び場所等

- 1 日 時：平成24年8月9日（木）13：15～15：15
- 2 場 所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター 7階研修室  
さいたま市中央区新都心2-1さいたま新都心合同庁舎検査棟
- 3 出席委員：委員13名中11名（栗生委員、江口委員、小倉委員、鴨下委員、関委員、高野委員、田所委員、野本委員、淵上委員、山口委員、山崎委員）が出席
- 4 委員長：高野克己
- 5 意見陳述及び傍聴を希望する者を公募したところ、意見陳述を希望する者はなく、傍聴を希望する者は2名であった。
- 6 議事結果

削りぶしの品質、生産、取引、使用又は消費の現況及び将来の見通し並びに当該JAS規格の利用状況等について説明後、当該JAS規格の性格の明確化及び見直しの方向性について議論を行った。

議論の結果、当該規格の性格はこれまで「標準規格」として位置付けられてきたところ。規格調査の結果から、今後とも引き続きその性格が「標準規格」として明確に位置付けられることを確認し、要望等を踏まえ改正の方向で検討を行うことを議決した。

今回の原案作成委員会は、具体的な原案について検討及び作成する予定である。

### 第2 当該会議の議事の経過の要領

#### 1 委員長の選任

日本農林規格の確認等の原案作成委員会会議規則（以下「会議規則」という。）第3条の規定に基づき、委員の互選により高野委員を委員長に選任した。また、委員長は関委員を委員長代理に指名した。

#### 2 削りぶしの日本農林規格の確認、改正及び廃止について

事務局から資料6について説明した後、当該規格の位置付け及び見直しの方向性について議論を行った。

##### (1) 当該規格の位置付けについて

当該JAS規格の性格は、これまで「標準規格」として位置付けられてきたところ。規格調査の結果、市場規模、規格の利用実態等から今後とも引き続きその性格を「標準規格」として明確に位置付けることが適当である旨、議決した。

##### (2) 当該規格の見直しの方向性について

当該JAS規格の性格を「標準規格」として明確に位置付けることが適当であると議決したことから、規格調査の結果を踏まえ、規格の改正の必要性につ

いて議論を行い、その結果、異物、内容量については削除することを議決した。

(①)

また、4点(②～⑤)については次回検討することし、1点(⑥)については改正しないこととした。

詳細は次のとおり。

①「異物」及び「内容量」の削除

「JAS規格の制定・見直しの基準」(資料5)に従って、遵守義務のある規格等との関係を考慮し必要な整理を行うことから削除する。

②定義の見直し

消費者委員から、粉末含有率に規定されている「筋繊維にほぼ直角に削ったもの」について、定義で定めたらどうかとの提案があり、その必要性等を整理し、次回検討することとした。

③いわしの削りぶしのエキス分の規格値の見直し

製造業者から原料いわしのエキス分が減少していることから、規格値を変更してほしいとの要望があり、エキス分のデータ等を提示し、次回検討することとした。

④容器の規定の削除

製造業者から、容器の規定について密封部の強度等の規定を削除する要望があり、密封部の強度の現状等を整理し、次回検討することとした。

⑤水分の測定方法の見直し

登録認定機関から水分の測定方法の見直しの要望があり、FAMICにおいて当該測定方法の妥当性確認を行った結果を踏まえて、次回検討することとした。

⑥粉末含有率の見直し

製造業者から粉末含有率について、小袋を分けて規定してほしいとの要望があったが、小袋の定義を作成することが困難であることから、改正しないこととした。

### 第3 会議における主な個々の意見(要旨)

#### 1 規格の性格の明確化に関する意見

- ・社内の製造基準や取引の際の規格書にJAS規格を使用している。
- ・学校給食では、JAS品の指定がある。
- ・消費者にとっては選択肢が多い方がよい。
- ・流通業者としては、JASマークの有無が商品選択の基準になっていないと思う。
- ・食文化の観点から規格基準を有していることが重要。

#### 2 規格の改正の必要性に関する意見

- ・「筋繊維にほぼ直角に削ったもの」について、定義で定めたらどうか。
- ・いわし削りぶしのエキス分について現在はエキス分が低いカタクチイワシが多いため、規格値を満たす原料ぶしを確保するのが難しい。

- 「密封部の強度」は、現在は包装資材の品質が向上しているため、規格として不必要ではないか。他の品目で密封部の強度を規格としているかも参考に検討していただきたい。
- 混合削りぶしの原料ぶしの混合率の表示については、アンケートでも要望があるが、消費者が知りたいと思っている事項と考える。
- 「粉末含有率」に小袋を項目として追加することについては、メーカーによって小袋の定義が様々であり、統一は難しいと考える。

以上

(事務局作成)